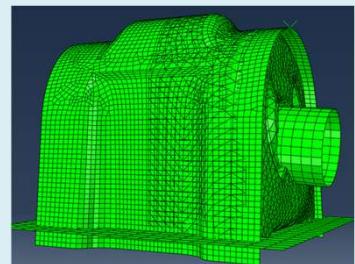


今回のサポート内容について

実用化

解析モデル化

現在の解析状況



条件設定

材料定義

解析方法

結果確認

改善

解析方法の確立

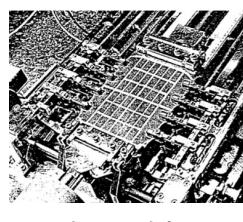
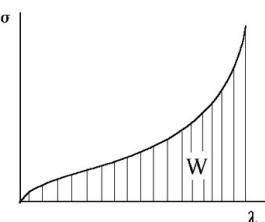
Step1 解析方法の診断
材料、解析設定、現状の確認

Step2 解析方法の確立
次ページに示すような、ゴム独特の解析
予測精度の向上を適用する。

Step3 標準化、解析収束性の改善
社内基準、標準的な解析方法の確立した
ものを社内展開方法等お手伝い

ゴムの超弾性体定義

基本式 $W = W(I_1, I_2, I_3)$ 伸張比 $\lambda = 1 + \varepsilon$ として二軸試験から定義



二軸試験概要

①Mooney型

$$W = \sum C_{ij} (I_1 - 3)^i (I_2 - 3)^j$$

②Ogden型

$$W = \sum \frac{\mu_i}{\alpha_i} (\lambda_1^{\alpha_i} + \lambda_2^{\alpha_i} + \lambda_3^{\alpha_i} - 3)$$

材料定義は精度アップに直結しますが、
解析方法を共に改善しないと、
十分ではありません。